

# 平成 25 年度入学者選抜試験問題

## 工 学 部

### 数 学

#### 前 期 日 程

##### 注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子の本文は、1 ページから 4 ページまでです。
- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明・落丁・乱丁、解答用紙の汚れなどに気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 4 監督者の指示にしたがって、解答用紙に**大学受験番号**を正しく記入してください。  
**大学受験番号**が正しく記入されていない場合は、採点されないことがあります。
- 5 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

[1] 次の問いに答えよ。

- (1) 2つの循環小数  $a = 1.\dot{2}$ ,  $b = 0.\dot{8}\dot{1}$  に対して,  $ab$  の値を求めよ。
- (2)  $a$  を定数とする。 $xy$  平面上の曲線  $y = \log_2 x$  と直線  $y = x + a$  は 2 つの共有点をもつ。共有点の  $x$  座標  $x_1, x_2$  が  $x_2 = 4x_1$  を満たすように,  $a$  の値を定めよ。
- (3)  $xy$  平面において, 曲線  $C : y = \frac{1}{x}$  ( $x > 0$ ) と直線  $y = -x + \frac{10}{3}$  の 2 つの共有点を A, B とする。曲線  $C$  上の点 P が  $PA = PB$  を満たすとき,  $\triangle PAB$  の面積を求めよ。

[2]  $\triangle OAB$  は,  $\angle AOB = 90^\circ$ ,  $OA = OB = 1$  を満たす。3辺  $OA$ ,  $AB$ ,  $BO$  を  $t : (1-t)$  ( $0 < t < 1$ ) に内分する点を, それぞれ  $C$ ,  $D$ ,  $E$  とし,  $\overrightarrow{OA} = \vec{a}$ ,  $\overrightarrow{OB} = \vec{b}$  とするとき, 次の問いに答えよ。

(1)  $\overrightarrow{OC}$ ,  $\overrightarrow{OD}$ ,  $\overrightarrow{OE}$ ,  $\overrightarrow{CE}$  を  $t$ ,  $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$  で表せ。

(2)  $|\overrightarrow{OD}|^2$ ,  $|\overrightarrow{CE}|^2$  を  $t$  の式で表せ。

(3)  $\overrightarrow{OD} \perp \overrightarrow{CE}$  を示せ。

(4)  $\triangle CDE$  の面積を  $S(t)$  とする。

(i)  $S(t) = \frac{3t^2 - 3t + 1}{2}$  を示せ。

(ii)  $t$  が  $0 < t < 1$  の範囲を動くとき,  $S(t)$  の最小値を求めよ。

[3] 関数  $f(x) = \frac{1}{2}x^2$  ( $x \geq 0$ ) の逆関数を  $f^{-1}(x)$  とする。xy 平面上に 2 曲線  $C_1 : y = f(x)$  と  $C_2 : y = f^{-1}(x)$  がある。次の問い合わせよ。

(1) 2 曲線  $C_1, C_2$  で囲まれた図形の面積を求めよ。

(2)  $a \geq 2$  とする。曲線  $C_1$  上の点  $A\left(a, \frac{a^2}{2}\right)$  における接線を  $l_1$ , 曲線  $C_2$  上の点  $B\left(\frac{a^2}{2}, a\right)$  における接線を  $l_2$  とし, 2 直線  $l_1, l_2$  のなす角を  $\theta$   $\left(0 < \theta < \frac{\pi}{2}\right)$  とする。

(i)  $\tan \theta$  を  $a$  の式で表せ。

(ii)  $\lim_{a \rightarrow \infty} \sin^2 \theta$  を求めよ。

[4] 行列  $A = \begin{pmatrix} \frac{3}{2} & -1 \\ 1 & -\frac{1}{2} \end{pmatrix}$ ,  $B = \begin{pmatrix} p & -2 \\ 1 & q \end{pmatrix}$ ,  $J = \begin{pmatrix} \frac{1}{2} & 1 \\ 0 & \frac{1}{2} \end{pmatrix}$  が  $AB = BJ$  を満たすとき、次の問いに答えよ。ただし、 $p, q$  は定数であり、以下で用いる  $n$  は自然数である。

(1)  $p, q$  の値を求めよ。

(2)  $J^n = \frac{1}{2^n} \begin{pmatrix} 1 & 2n \\ 0 & 1 \end{pmatrix}$  を示せ。

(3)  $A^n = \frac{1}{2^n} \begin{pmatrix} 1+2n & -2n \\ 2n & 1-2n \end{pmatrix}$  を示せ。

(4) 行列  $A^n$  の表す 1 次変換により、 $xy$  平面上の点  $(p, 1), (-2, q)$  が、それぞれ点  $P_n, Q_n$  に移される。原点を  $O$  として、 $\overrightarrow{OP}_n$  と  $\overrightarrow{OQ}_n$  のなす角を  $\theta_n$  とするとき、  
 $\lim_{n \rightarrow \infty} \cos \theta_n$  を求めよ。